

ブロンズの華 笹戸千津子展

CHIZUKO SASADO

2015. 6. 1 (MON) ~ 6. 26 (FRI)

今から28年余を遡る第1回ストリートギャラリーは著名作家ブロンズ展 佐藤忠良、船越保武、柳原義達等5人の日本を代表する彫刻家作品展が第一歩。今回の笹戸千津子氏は実力・人気とも最も高い佐藤忠良唯一の愛弟子であり、佐藤代表作の一つ「帽子・夏」-沼津文化センター入口横に設置-のモデルとしても知られている。笹戸芸術は、対象を内面深く情感をもって捉え、卓越した技にて生命感を吹き込むことにより、その作品は細やかにして清楚、姿は毅然として品格漂う中に、伸びやかである。その有様は笹戸氏の人柄をも表し、ブロンズの華と言われる所以である。静岡初の個展であり、多くの方々のご来廊をお待ちしております。



「少女像」



「スカートのゆみ」



「建築家」

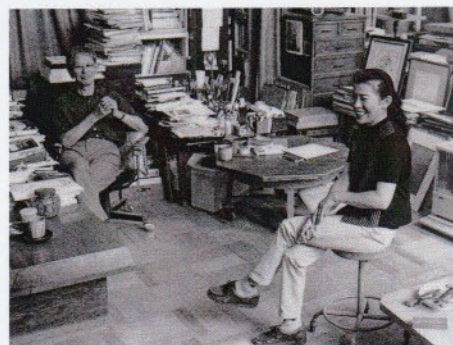
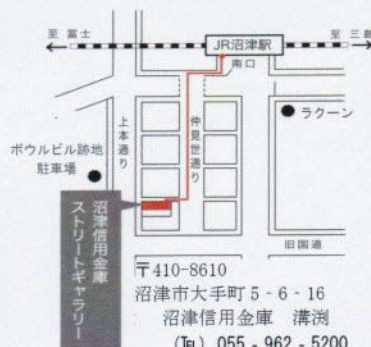


「長衣の女'82」

<略歴>

- 1948年 2月 山口県徳山市に生まれる
- 1970年 東京造形大学美術学科彫刻専攻卒業、同大学彫刻研究室に入る
- 1971年 第35回新制作展に「き子」「腰かけるき子」を初出品
- 1973年 東京造形大学彫刻研究室を修了と同時に彫刻家佐藤忠良のアトリエにて制作をはじめる
- 1974年 第38回新制作展「タシケントガウン」「T」を出品、新作家賞を受賞
- 1976年 第40回新制作展「こしをおろす女」「慶庫」を出品、新作家賞を受賞
- 1977年 第41回新制作展「若い座像」「ゆうこ」を出品、新制作協会会員に推挙される
- 1983年 個展（東京・現代彫刻センター）を開催、これを期に初の全国巡回展に発展
- 1987年 第18回中原悌二郎賞優秀賞を受賞
- 1993年 第7回神戸具象彫刻大賞展に招待出品、準大賞受賞
- 1998年 第26回長野市野外彫刻賞受賞

新制作展、日本の美・現代女流美術展には毎回出品する他、全国各地での個展を開催また有名デパート・主要都市画廊で数多く個展・グループ展に出品



▲佐藤氏のアトリエで師と語る笹戸千津子 1997年

<http://www.numashin.co.jp>